

2024(2023年度) 安全報告書



銚子電気鉄道株式会社

1. ごあいさつ

日頃より銚子電気鉄道をご利用いただき、誠にありがとうございます。
当社では「輸送の安全確保」を最も重要な事項として経営理念の第一に掲げ、安全・安心・楽しいサービスの提供を標榜し、安全規範の順守に努めております。

さて、この報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや事故等の発生状況についてご報告するものです。本文記載の通り、2023 度におきましては、鉄道運転事故は発生しませんでした。有責による輸送障害輸送障害(30 分以上の遅延や運休)が 2 件(海鹿島駅～君ヶ浜駅間における車両支障及び本銚子駅～笠上黒生駅間における架線支障)発生し、ご利用されるお客様に多大なご不便をお掛けいたしました。ここに深くお詫び申し上げます。

当年度においては、安全重点施策として、国、千葉県、銚子市からの協調補助を受けつつ軌道の修繕(踏切遮断機更新工事、分岐器用レール更新工事、木マクラギ更新工事【PC マクラギへの交換を含む】、土留め新設、木製柱からコンクリート柱への更新工事)を計画的に行いました。また老朽化した車両(2000 形2両1編成)に代えて、南海電鉄より新たに中古車両(2 両 1 編成)を取得いたしました。また輸送におけるより一層の安全性を担保するため、添乗・巡回指導の実施した人材教育に注力いたしました。これらの施策を通じて、より一層の安全意識を持って輸送障害を未然に防止すべく体制の強化に取り組んでまいります。

当社では2013年に長期的な経営改善計画を策定し、鉄道事業存続に向けた取り組みを続けているところです。従前の事後保全的な維持管理のあり方を見直し、予防保全の見地から重点改修計画を策定し、軌道、電路の計画的な改修を進めてまいります。また、災害・テロ対策につきましても、緊急時を想定した訓練を定期的の実施し、危急時における社員の対応力向上に努めております。

今後共、保安監査及び運輸安全マネジメントを基軸とした国交省関東運輸局の指導の下、「輸送の安全の確保」を至上命題として、社員一同力を尽くして輸送の安全性の向上に取り組んでまいりますので、引き続き銚子電気鉄道をどうぞよろしくお願いいたします。



銚子電気鉄道株式会社

代表取締役社長 竹本 勝紀

2. 基本方針と安全目標

(1)安全基本方針

当社の基本方針は、「安全・安心・楽しいサービス」を提供することをモットーに社長以下全社員に対し次の通り安全に関する規範を定め、情報の共有化徹底を図っています。

- ① 一致団結し輸送の安全の確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全適切な処理をとる。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は洩れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2)安全目標

2023年度の安全目標は次のとおりでした。

- 鉄道運転事故……**事故 0**
教育訓練及び P、D、C、A 体制の確立を行っております。
- 輸送障害 …… **発生 0**
- インシデント……**発生 0**
未然に防ぐ(ヒヤリハットの情報収集)対策を行っております。

2023年度は、有責による輸送障害が2件発生致しました。今年度は従業員一同、運転事故、インシデントを発生させないことを目指し、目標達成に向けて取り組んでまいります。

3.事故の発生状況

(1) 鉄道運転事故

2023年度は発生していません。

過去5年間の鉄道運転事故の発生件数と死傷者数の推移は次のとおりです。

年度	2019	2020	2021	2022	2023
事故件数	0	1	0	0	0
死傷者数	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(2) 災害(大雨、台風、落雷など)

2023年度は1件発生しました。内容は以下のとおりです。

① 台風の影響(2023年6月3日)

台風2号の大雨の影響により、銚子駅～外川駅間の全線で18本の列車が運転を見合わせました。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

2023年度は2件発生しました。主な内容は以下のとおりです。

① 車両故障(2023年11月18日 08時27分発生)

海鹿島駅～君ヶ浜駅間において車両支障が発生しました。
この影響により3本の列車が運休しました。

② 架線支障(2023年12月13日 05時42分発生)

本銚子駅～笠上黒生駅間において架線支障が発生しました。
この影響により7本の列車が運休しました。

(4) その他

① 火災(2024年1月5日 06時55分発生)

観音駅～本銚子駅間において不審火による火災が発生しました。
この影響により4本の列車が運休しました。

② 威力業務妨害（2024年3月2日 05時37分発生）

SNS 上での威力業務妨害が発生しました。
この影響により2本の列車が運休しました。

(5) インシデント(事故の兆候)

2023年度は発生していません。

(6) 行政指導など

2023年度はありませんでした。

4. 安全重点施策と安全確保のための取り組み

(1) 安全重点施策

国、県、市からの設備の修繕、維持、更新にかかる経費を算出根拠とする鉄道軌道輸送対策事業補助金をもとに軌道及び踏切設備等の安全にかかわる投資は次の通りの結果です。

① 踏切遮断機更新工事

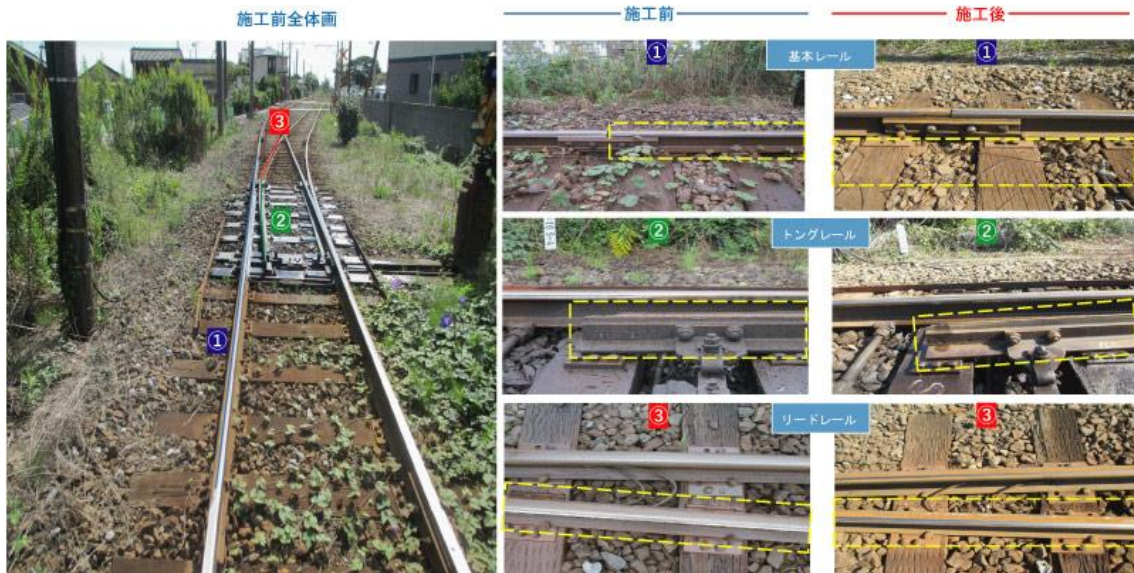
海鹿島大踏切(笠上黒生駅～西海鹿島駅間)の踏切遮断機(4基)を更新し、保安度の向上を図りました。



④ 分岐器用レール更新工事

笠上黒生駅構内の分岐器用レールの更新を致しました。

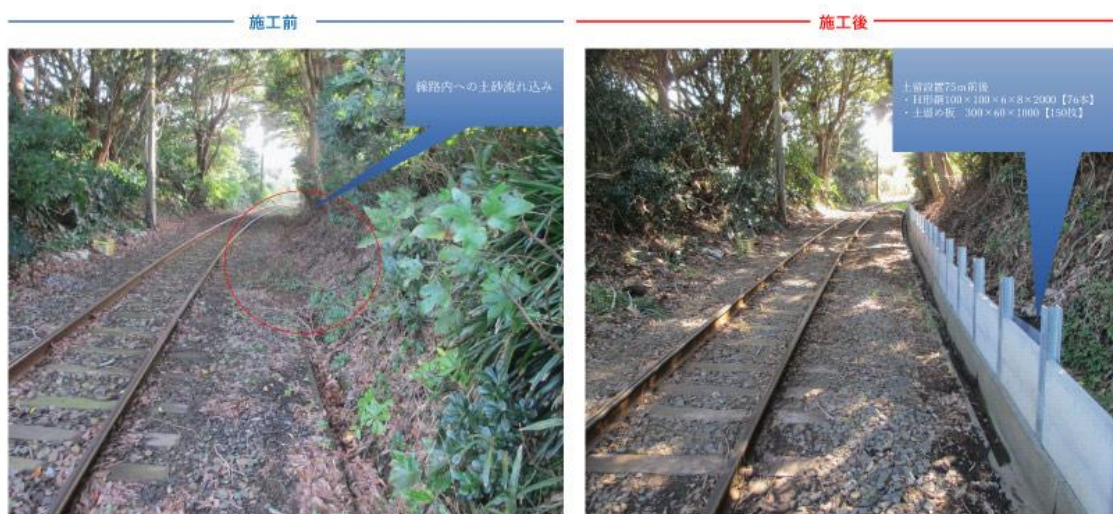
摩耗が進行することにより生じる欠損やフローによる分岐器不転換を防止し、列車の安全輸送及び安定性向上を図りました。



⑤ 土留め新設工事

海鹿島駅～君ヶ浜駅間に土留めを設置致しました。

軌道上に土砂等が入りにくくなり、より安全に列車運行を行うことができます。



⑥ 木製柱 → コンクリート柱更新工事

観音駅～本銚子駅間の架線電柱を木製からコンクリートへ更新致しました。

経年劣化により老朽化した支持物を更新し、破損事故等を未然に防ぐ事により、安全な輸送の継続が保たれます。



⑦ 車両更新(中古 2 両 1 編成)

南海電鉄様より2両1編成を購入し、2000 形 2両1編成との置換えを行いました。今回の車両は、約 8 年ぶりの新車両(中古車)導入となります。

老朽化が進んでいる車両を更新することにより、列車の安全輸送及び安定性向上を図りました。



⑧ 車両重要部検査(2両1編成 2502+2002)

重要部検査とは、走行装置、ブレーキ装置などの主要な部分を解体しておこなう定期検査です。検査周期を迎えた2両1編成について車両設備実施基準に基づく重要部検査を実施し、車両の安全確保を図りました。



(2) その他

① 添乗・巡回指導の実施

夏季および年末年始に安全統括管理者、運転管理者による添乗・巡回指導を実施し改善点を指示しました。

② 人材教育

運転、駅、車両、施設の各担当係員には年間の教育訓練計画をもとに教育を行い、知識の充実、技術技能の向上に努めています。

イ) 運転士の養成

計画的に運転士の養成を進めております。2023年度は甲種電気車動力車操縦者運転免許(電車運転士免許)の国家試験に2名が合格致しました。

ロ) 合同防犯訓練(テロ対応)

4月25日実施



ハ) 高所作業車異常時訓練

6月16日実施



二) 防火防災訓練

9月15日実施

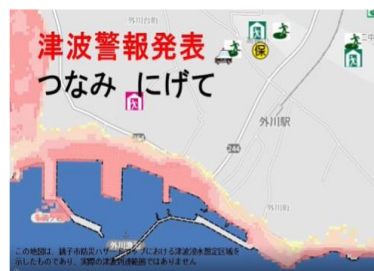
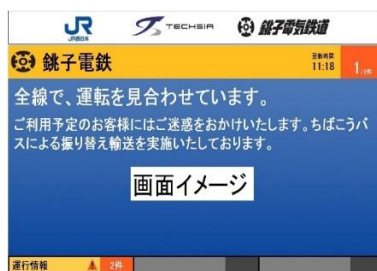


③ 各種研修会・講習会への参加

国土交通省関東運輸局、日本鉄道電気技術協会などが開催する研修会、講習会に参加し、業務知識の向上、技術情報の取得に努めています。習得した知識は鉄道部会等で発表、報告しています。

④ お客様、地域の皆様への情報提供

JR 西日本の技術を活用した簡易情報提供端末「Scomm.」(エスコム)を、銚子駅、観音駅、本銚子駅、西海鹿島駅、海鹿島駅、君ヶ浜駅、犬吠駅、外川駅に設置しております。運行に支障があった場合(運転見合わせ、遅れ発生)や災害情報(津波ハザードマップなど)を表示するとともに、声を出して、皆様にお知らせいたします。通常は、時刻表を表示しています。

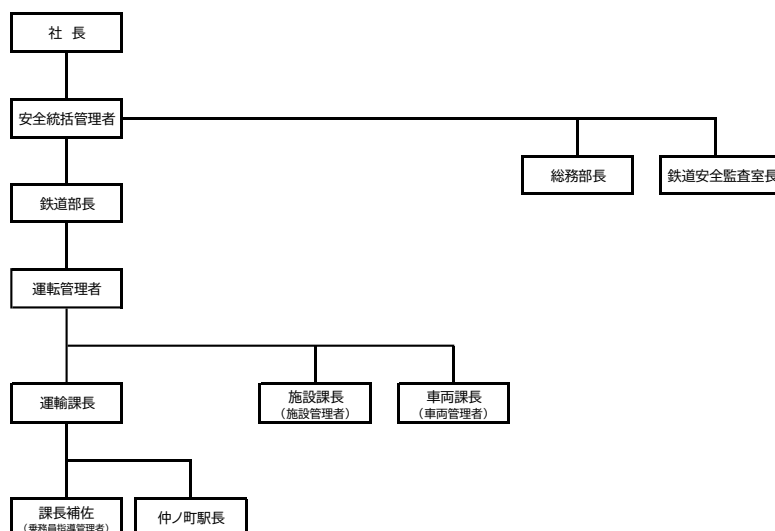


5. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

安全管理規程をもとに、社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

安全の確保に関する体制



役 職	役 割
社 長	輸送の安全に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 鉄道部長	輸送の安全に関する業務を統括する。
運転管理者 鉄道部長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設管理者 鉄道部施設課長	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 鉄道部運輸課長	安全統括管理者の指揮の下、乗務員に関する事項を統括する。
車両管理者 鉄道部車両課長	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

(2)安全管理の方法

●内部監査制度

鉄道事業の安全管理体制の強化と、運輸安全マネジメント制度の運用状態の確認のため、内部監査を実施しております。内部監査は、鉄道事業に関する業務が関連法令や、安全管理規程、その他の社内規程類との適合、及び安全管理体制の有効性を確認するためのものです。経営トップ、安全統括管理者、各責任者へのインタビューと書類の確認などにより監査し、その後の改善に活用しています。

●鉄道部会

鉄道部会は、鉄道部内の情報共有や、問題点の把握、改善の検討、経営トップからの指示などを目的に毎月開催しております。部員からの問題提起や、ヒヤリ・ハット情報の共有など、安全管理体制の向上に努めております。

お問い合わせ先

銚子電気鉄道株式会社 鉄道部

TEL:0479-22-0316(土日祝日を除く 10時~12時 13時~15時)

e-mail:info@choshi-dentetsu.jp